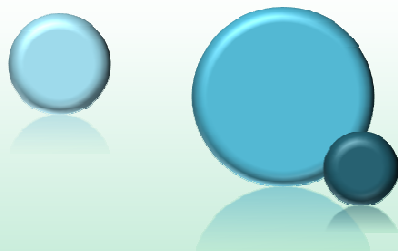




2012年3月期決算 説明会資料



2012年5月28日
ディーブイエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)

循環器分野に強い「医療機器販売会社」

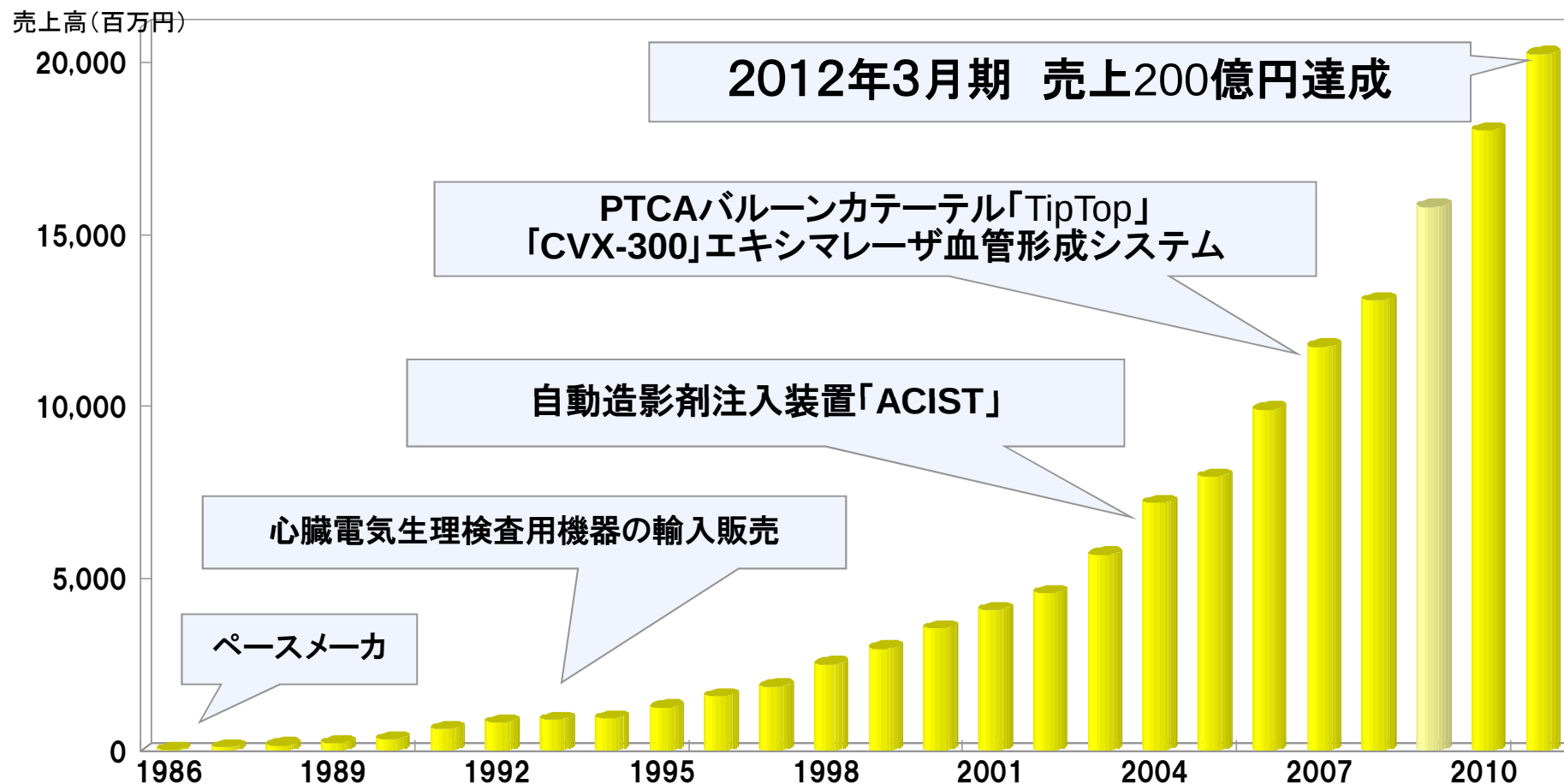
社名	ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)
所在地	東京都豊島区高田二丁目17番22号
代表者	代表取締役社長 若林 誠
営業拠点	国内17ヶ所

沿革

1986年	心臓ペースメーカー販売とフォローアップ業務を目的として、(株)ヘルツを設立
1992年	心臓電気生理検査用機器の輸入販売を開始
1997年	医療機器輸入会社(有)シー・エム・アイジャパンを子会社化 (株式会社に改組後、ディーブイエックスジャパン(株)に商号変更)
2000年	自動造影剤注入装置の輸入販売を開始
2003年	エキシマレーザ血管形成システムの輸入販売を開始
2004年	ディーブイエックスジャパン(株)を吸収合併、(株)ヘルツからディーブイエックス(株)に商号変更
2007年	ジャスダック証券取引所(現 大阪証券取引所JASDAQ)に株式上場
2008年	「エキシマレーザ心内リード抜去システム」の薬事承認を取得
2010年	静岡営業所をはじめ計4ヶ所の営業所を開設

当社の歩み

ニーズを先取りして、高付加価値サービスを開拓



心臓ペースメーカー販売・
フォローアップ

アブレーション治療
検査機器輸入

より優しい医療へ取り組み
自動造影剤注入装置
先進医療

当社の主要商品

DVxは、“循環器分野”に特化した医療機器販売会社

不整脈 事業

電極カテーテル
(心臓電気生理
検査用)



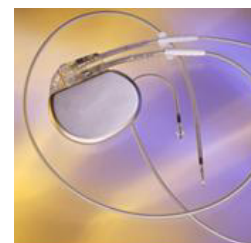
電極カテーテル
(アブレーション
用)



ICD
(植込み型自動
除細動器)



心臓
ペースメーカー



虚血 事業

自動造影剤注入
装置「ACIST」



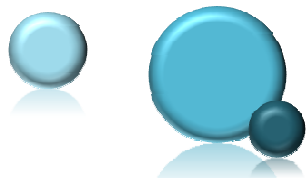
エキシマレーザ
血管形成システム



PCIカテーテル



エックス線防護
シールド



循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”

医療現場に携わる企業としての使命を果たし、企業発展を実現



I 決算（実績と計画）



2012/3期 IRトピックス

【2011年】

6月 株式の立会外分売を実施

10月 株式分割(1:2)

11月 「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」 を発表

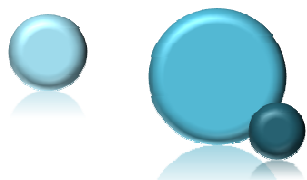
2012年3月期第2四半期決算を発表

【2012年】

2月 株式の立会外分売を実施

3月 「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」 を発表

5月 2012年3月期決算を発表



2012/3期 決算のポイント

Point①

震災後の不透明な環境
主要営業基盤の東日本エリアでの難しい事業展開

Point②

売上成長の持続と、前年実績以上の営業利益
の確保を重要目標として事業を展開



2012/3期実績

売上高は期初予想比2.4%増、
営業利益も期初予想比27.4%増を達成

売上高

20,487百万円
(期初予想: 20,016百万円)

営業利益

892百万円
(期初予想: 701百万円)

2012/3期 決算概況

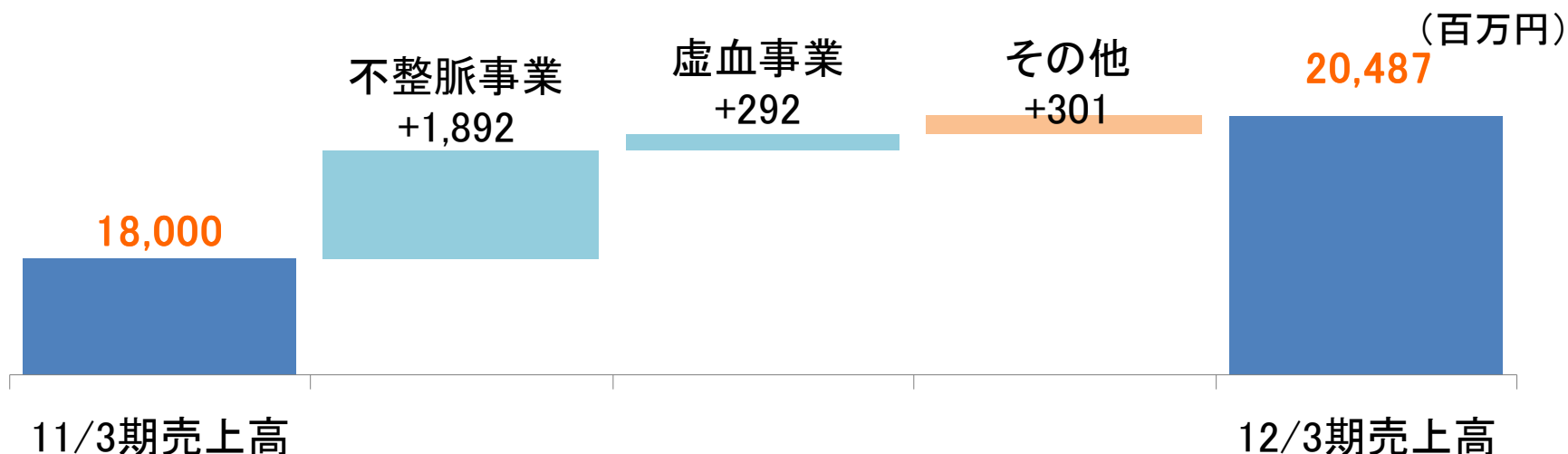
	10/3期	11/3期	12/3期	前年比
売上高	15,793	18,000	20,487	113.8
不整脈事業	13,581	14,688	16,580	112.9
虚血事業	2,188	2,918	3,210	110.0
売上総利益	3,185	3,425	3,727	108.8
営業利益	661	779	892	114.5
経常利益	668	784	873	111.3
当期純利益	324	357	476	133.3

(百万円、%)

- 価格引下げ要請は継続するも、販路拡大により、売上高は前年比**113.8%**
 - 不整脈事業、虚血事業ともに、前年比2桁増。
- 2度の業績修正予想修正。営業利益は前年比**114.5%**、
 - 前期にあった特別損失の影響がなくなり、当期純利益は、前年比**33.3%**増の大幅増益。

2012/3期 売上高の増減内訳

事業区分別の売上増減内訳



■ 不整脈事業の売上増減要因(前年比+1,892百万円)

- 西日本エリアでの新規顧客獲得、心臓ペースメーカー、ICD関連、電極カテーテル関連等の主力商品の販売増。

■ 虚血事業の売上増減要因(前年比+292百万円)

- 静岡エリアをはじめ新規顧客の獲得による販路拡大
- バルーンカテーテル等の販売数量の増加

2013/3期 通期業績予想

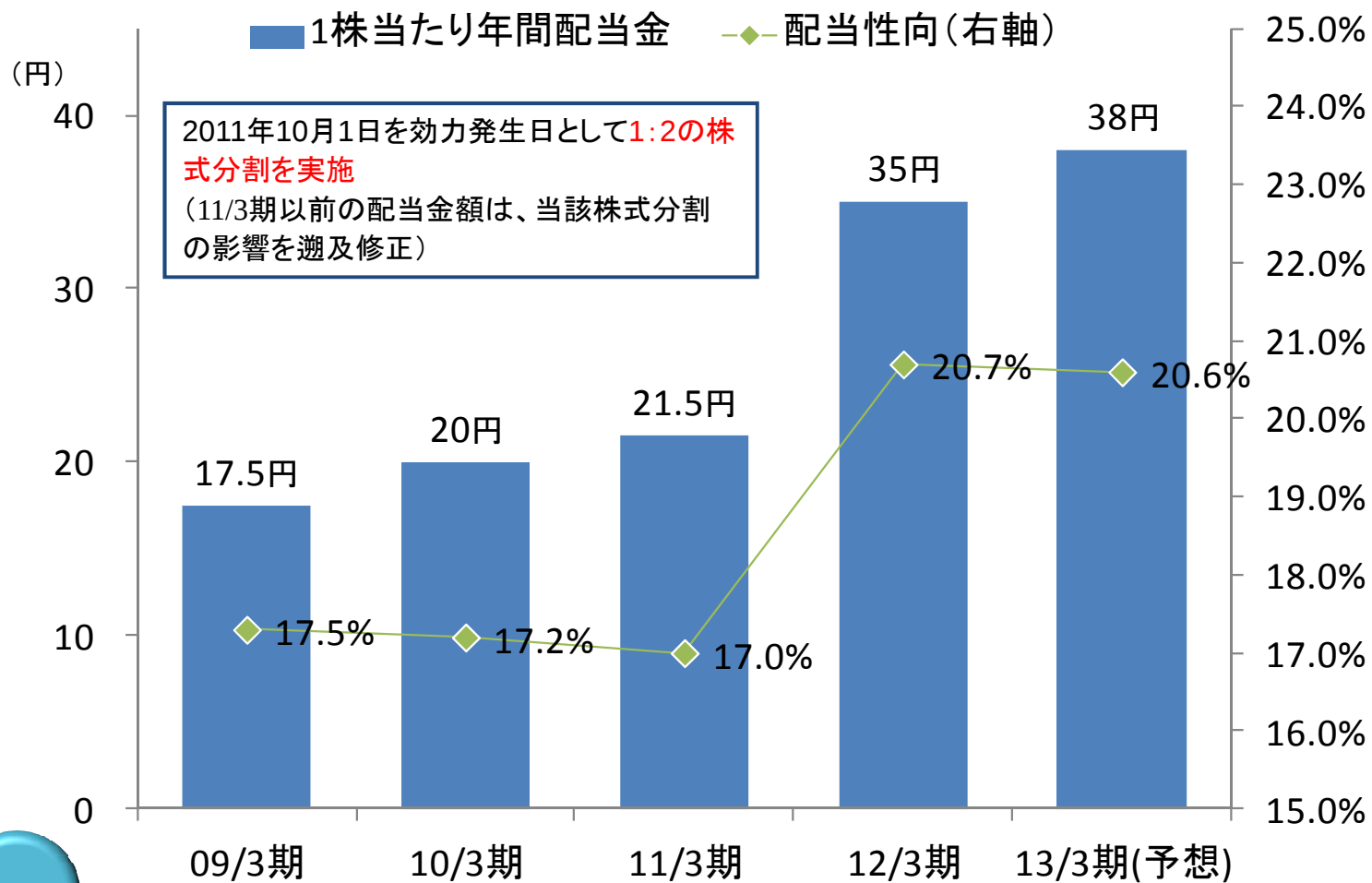
(百万円、%)

				12/3通期	13/3通期	前年比
売 上 高				20,487	21,500	104.9
	不 整 脈 事 業			16,580	17,431	105.1
	虚 血 事 業			3,210	3,476	108.3
	そ の 他			695	591	85.1
営 業 利 益				892	913	102.3
経 常 利 益				873	910	104.2
当 期 純 利 益				476	519	109.0

- 不整脈事業の拡大、虚血事業の強化により、売上高は前年比104.9%
- 償還価格の改定に伴う販売価格の下落への対応
 - 全体としては僅かにプラス改定だが、当社取扱品は全般的に下落。

2013/3期配当予想

配当性向20%を目途とし、業績向上を通じた安定配当を目指す



Ⅱ 市場環境



Ⅱ 市場環境 ① 不整脈領域の市場規模推移

(単位:百万円、%)

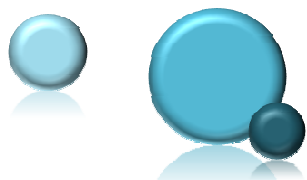
製品	2008年 ※	伸び率	2009年	伸び率	2010年 ※	伸び率	2011年	伸び率	2012年 (予) ※	伸び率
電気生理検査 用カテーテル	13,310	6.2	14,620	9.8	16,125	10.3	15,160	-6.0	15,055	-0.7
心筋焼灼用 カテーテル	4,478	30.1	6,191	38.3	7,689	24.2	9,579	24.6	11,334	18.3
ペースメーカー	38,200	-6.0	43,690	14.4	40,645	-7.0	40,881	0.6	38,525	-5.8
ICD/CRT-D	18,970	5.4	20,850	9.9	23,479	12.6	25,745	9.7	28,173	9.4
リード類	12,224	1.1	13,296	8.8	13,310	0.1	13,718	3.1	14,062	2.5
合計	87,182	0.5	98,647	13.2	101,248	2.6	105,083	3.8	107,149	2.0

(参考) 当社売上高(実績)

全社	13,080	11.4	15,793	20.7	18,000	14.0	20,487	13.8	21,500	4.9
内不整脈事業	11,290	11.1	13,581	20.3	14,688	8.2	16,580	12.9	17,431	5.1

(注) ※印が付いた年度は、償還価格改定年です。

(出典:「医療機器・用品年鑑2011年版、2012年版」株式会社アールアンドディ)



Ⅱ 市場環境 ② 診療報酬改定(1)

平成24年度診療報酬改定の概要

- 「社会保障・税一体改革成案」で示した2025年のイメージを見据えつつ、あるべき医療の実現に向けた第一歩の改定
- 国民・患者が望む安心・安全で質の高い医療が受けられる環境を整えていくために必要な分野に重点配分

全体改定率	+	0.004%	
診療報酬(本体)	+	1.38%	(約5,500億円)
┌ 医科	+	1.55%	(約4,700億円)
└ 歯科	+	1.70%	(約500億円)
└ 調剤	+	0.46%	(約300億円)
薬価等	▲	1.38%	(約5,500億円)
┌ 薬価	▲	1.26%	(約5,000億円)
└ 材料価	▲	0.12%	(約500億円)

(参考:「平成24年度診療報酬改定の概要」厚生労働省)

Ⅱ 市場環境 ③ 診療報酬改定(2)

医療材料の改定の動向について

「社会保障・税一体改革成案」で示した2025年のイメージを見据えつつ、あるべき医療の実現に向けた第一歩となる改定であり、国民・患者が望む安心・安全で質の高い医療が受けられる環境を整えていくために必要な分野に重点配分

I 負担の大きな医療従事者の負担軽減

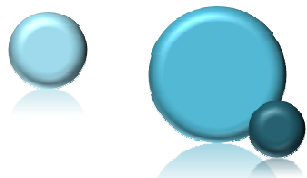
II 医療と介護等との機能分化や円滑な連携、在宅医療の充実

III がん治療、認知症治療などの医療技術の進歩の促進と導入

医療材料全体では▲0.12%(約500億円)の引き下げ



当社取り扱い商品においては、▲7%程度影響の見通し



(参考:「平成24年度保険医療材料制度改革の概要」厚生労働省)

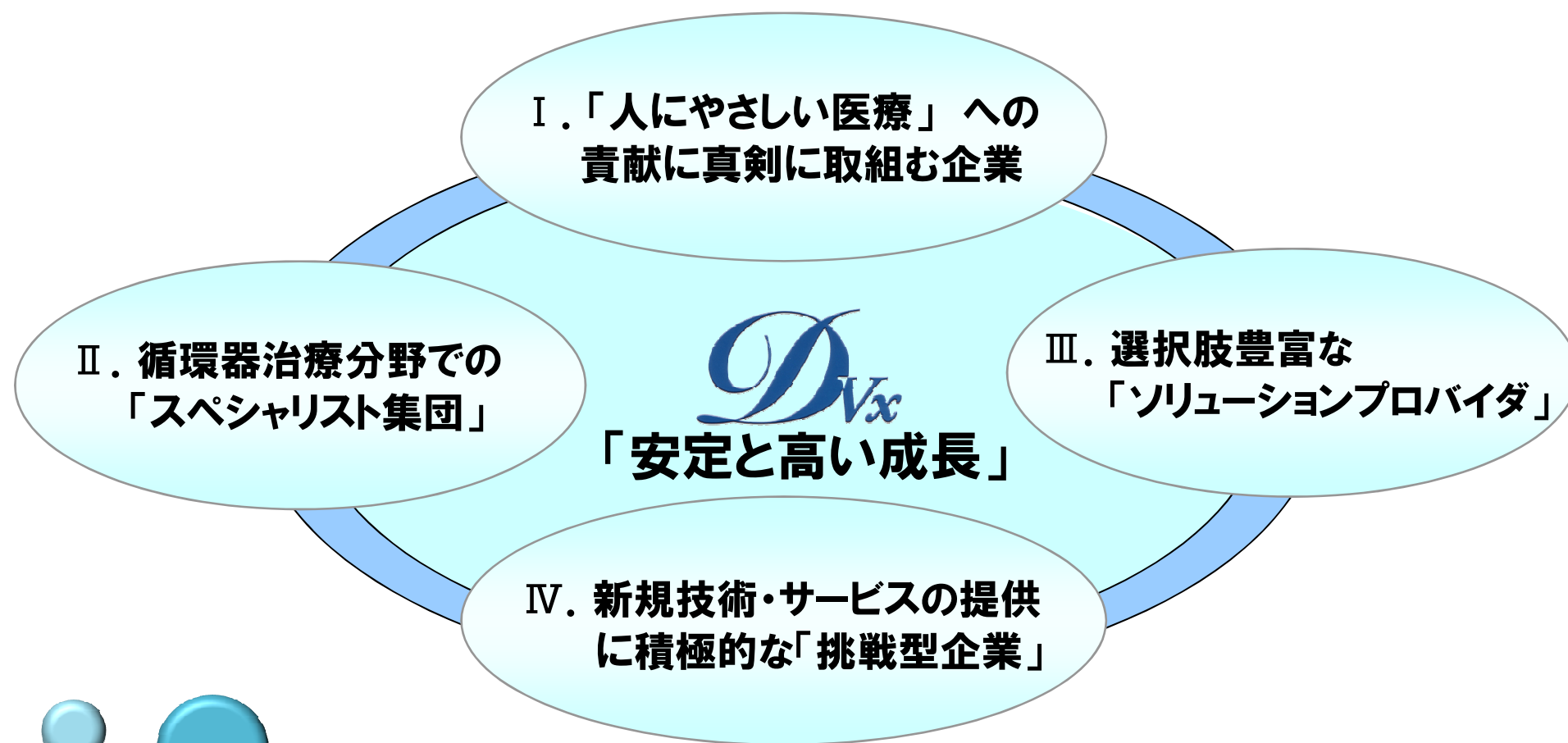
Ⅲ 成長戦略



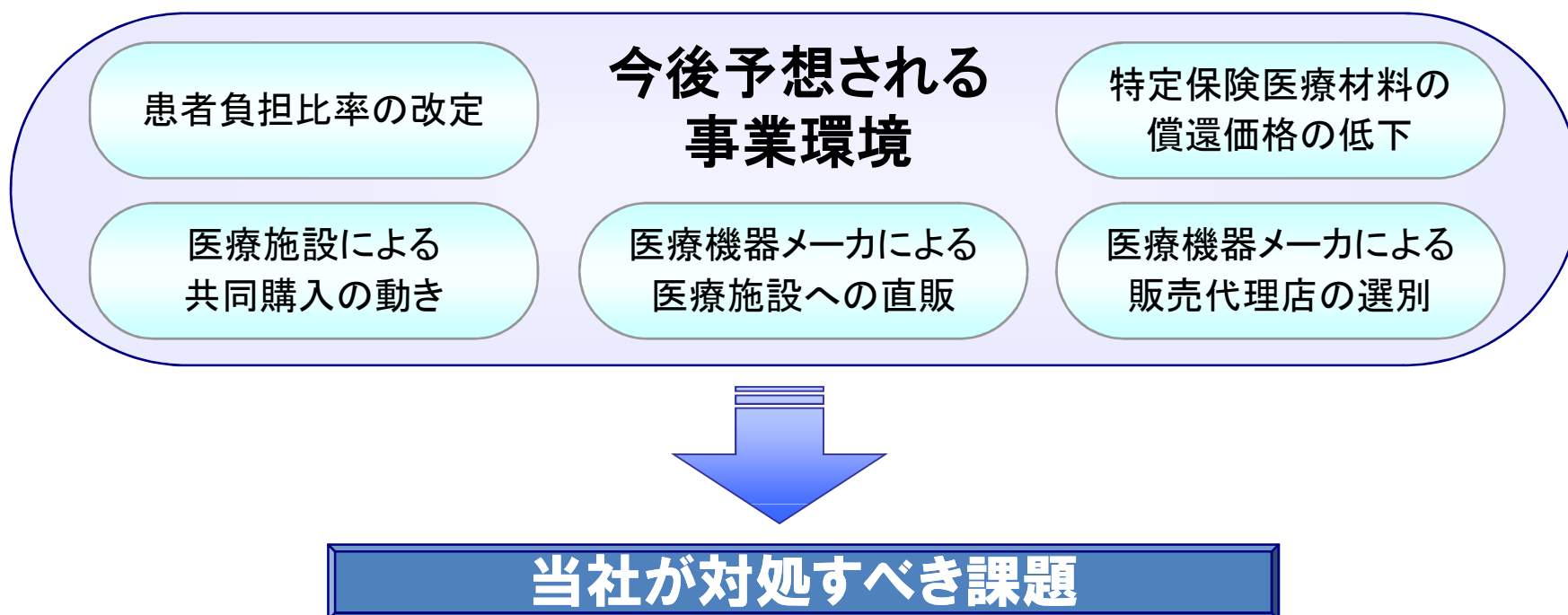
Ⅲ 成長戦略 ①当社の“使命”・目指す“企業像”

当社の使命

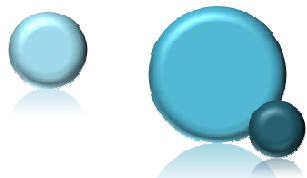
「病気で苦しむ人々の Quality of life の向上に貢献してゆくこと」



Ⅲ 成長戦略 ②当社が対処すべき課題



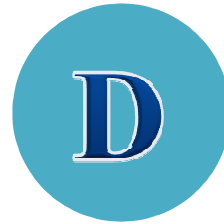
- I. 地域密着型営業の強化
- II. 新商品導入のための社内体制強化
- III. 技術教育の強化
- IV. 管理機能の強化



Ⅲ 成長戦略 ③“地域密着型営業”の強化



D_{Vx}



development

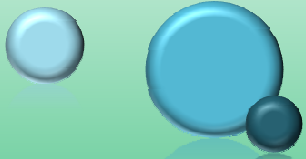


enture



ー「未知数」「無限の可能性」

ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)



本資料における注記事項

- 本資料は投資家の参考に資するため、ディービーエックス株式会社（以下、弊社）の現状を理解していただくため作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先
ディービーエックス株式会社 経営管理部
TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106
URL <http://www.dvx.jp/>

